

世界の諸地域 アジア州

●時間20分

組 番

得点

名
前

/100

テーマ1 中国の経済の特徴を読み取ろう

(1) 資料Ⅰを見て、次の①、②に答えなさい。

- ① 2000年の中国のGDPは、日本のおよそ何分の1ですか。
- ② 2014年の中国のGDPは、日本のおよそ何倍ですか。

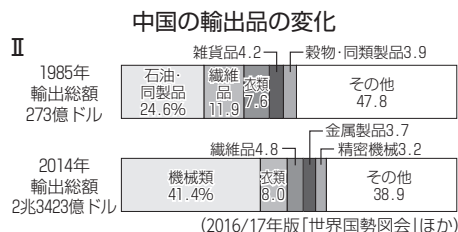
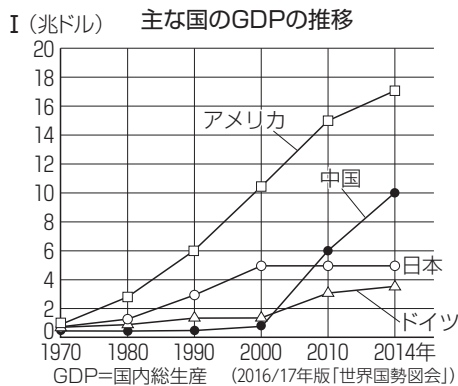
(2) 資料Ⅱを見て、次の①、②に答えなさい。

- ① 2014年の輸出額は、1985年のおよそ何倍ですか。整数で書きなさい。
- ② 2014年の輸出品は、1985年に比べて中心が何に変わりましたか。[]から選びなさい。

[農産物 鉱産物 工業製品 雑貨類]

(3) 資料Ⅰ、資料Ⅱから考えられることを次から選び、記号で書きなさい。

- ア 中国のGDPはゆるやかに増加している。
- イ 中国の2014年の主な輸出品は1985年に比べて大きく変わっていない。
- ウ 中国のGDPは1990年以降、ドイツや日本を上回るようになった。
- エ 中国の工業は2000年以降、急速に発達していると考えられる。



テーマ1 (10点×5)

(1)	① 5分の1
	② 2倍
(2)	① 86倍
	② 工業製品
(3)	エ

テーマ2 東南アジアの経済の特徴を読み取ろう

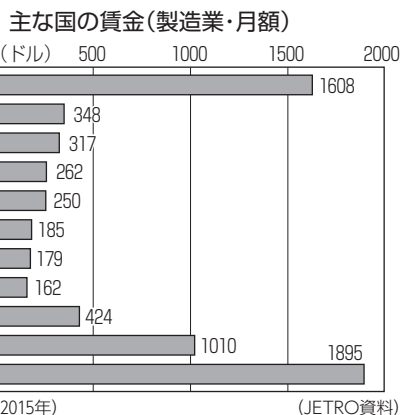
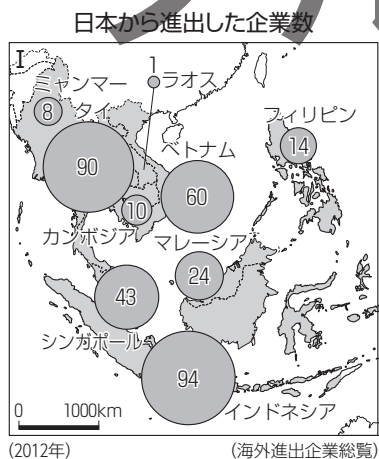
(1) 資料Ⅰを見て、日本から進出した企業数の上位3位までの国名を、数の多い順に書きなさい。

(2) 資料Ⅱを見て、次の①、②に答えなさい。

- ① 賃金が月額500ドル以上の東南アジアの国はいくつありますか。
 - ② 東南アジアの国の中で、賃金が2番目に多い国の額は、最も多い国のおよそ何分の1ですか。[]から選んで書きなさい。
- [2分の1 3分の1 5分の1 10分の1]

(3) 資料Ⅰ、資料Ⅱから考えられることを次から選び、記号で書きなさい。

- ア 日本から近い国ほど日本の企業が多く進出している。
- イ 日本の企業が最も多く進出している東南アジアの国は、賃金が最も安い。
- ウ 日本の企業の多くは、東南アジアの国の賃金が安いいため進出している。
- エ 東南アジアの国の賃金は、どの国も中国の賃金より安い。



テーマ2 (10点×4)

(1)	1位 インドネシア
	2位 タイ
	3位 ベトナム
(2)	① 1つ
	② 5分の1
(3)	ウ

※(1)は完答

考えよう (テーマ1, テーマ2)から考えられる中国や東南アジアの経済の特徴を、「賃金」を使って簡単に書きなさい。

考えよう (10点×1)

(例)安い賃金を生かして経済発展を進めている。